


三条教区通信

第 70 号

発行日 2013年4月1日
 発行者 三条教務所長 鷲尾 幸雄
 発行所 真宗大谷派三条教務所
 〒955-0071 三条市本町2丁目1-57
 E-mail: sanjo@higashihonganji.or.jp
 ホームページ: www.gobosama.net

三条教区 

今月の法語

〔法語カレンダーより〕

念仏もうすところに
 立ち上がっていく力が
 あたえられる

西元宗助 1909年～1990年

研修会のご案内

■「差別と真宗」基礎講座 開催案内既送

- ◆日時 2013年4月19日(金) 13:00～15:30
- ◆会場 佐渡組 専念寺
- ◆講師 村山教二氏(第11組願興寺)
- ◆テーマ 差別と真宗
- ◆問合せ 三条教務所(担当:藤波・藤村)まで。

■第34回長岡地区推進員研修会 開催案内同封

- ◆日時 2013年5月8日(水) 10:00～16:00
- ◆会場 第10組 聞光寺
- ◆講師 大藤昶磨氏(第10組 勝願寺住職)
- ◆講題 「出逢いが開く世界」
- ◆参加費 1,500円(昼食代含む)
- ◆問合せ 三条教務所(担当:藤波)

■第34回新潟地区推進員研修会 開催案内同封

- ◆日時 2013年5月13日(月)
- ◆会場 第21組 超願寺
- ◆講師 渡邊学氏(第23組 明正寺住職)
- ◆講題 「御(おん)同朋の教団」
- ◆参加費 1,500円(昼食代含む)
- ◆問合せ 三条教務所(担当:藤波)

■推進員・育成員共学研修会 開催案内同封

- ◆日時 2013年5月16日(木) 13:30～17:00
- ◆会場 教区同朋会館
- ◆講師 加藤祐晃氏(22組善良寺住職)

- ◆テーマ 同朋会運動の願い—推進員、育成員の歩みを通して—
- ◆対象 主に各組養成講座スタッフ・同朋の会教導各組推進員連絡協議会役員
- ◆問合せ 三条教務所(担当:森)

■仏青報恩講 開催案内同封

- ◆日時 2013年5月17日(金) 14:00開場
- ◆場所 アオーレ長岡 市民交流ホールA
- ◆内容 講談師 神田香織氏による講談
- ◆演目 「はだしのゲン」
- ◆対象 どなたでも
- ◆参加費 無料
- ◆問合せ 三条教務所(担当:五辻)

■新任教師研修会 開催案内後送

- ◆日時 2013年6月10日(月)～11日(火)
13:30～翌日12:00
- ◆会場 教区同朋会館
- ◆講師 藤場俊基氏(金沢教区常讃寺)
- ◆対象 大谷派教師資格取得後5年以内の方
- ◆参加費 3,000円(宿泊・食事代含む)
- ◆問合せ 三条教務所(担当:森)

■別院フォーラム(御坊市) 開催案内後送

- ◆日時 2013年6月15日(土)～16日(日)
両日とも10:00～16:00
- ◆場所 三条別院本堂・旧御堂・諸殿
- ◆参加費 無料
- ◆その他 運営スタッフ募集中!
- ◆問合せ 三条教務所(担当:五辻)

■春季声明講習会 開催案内後送

- ◆日時 2013年6月19日(水)10:00～16:00
- ◆場所 教区同朋会館
- ◆講師 藤澤善夫氏(堂衆)
- ◆内容 御遠忌法要の勤め方(荘厳を中心に)
- ◆対象 僧侶
- ◆参加費 500円
- ◆その他 教師陞補に必要な受講証発行
- ◆問合せ 三条教務所(担当:五辻)

■第51回児童夏の集い 開催案内後送

- ◆日時 2013年8月20日(火)～22日(木)
- ◆場所 長野市戸隠キャンプ場
- ◆問合せ 三条教務所(担当:五辻)

■ 教学研究会報告



2013年3月1日(金)～2日(土)の二日間、大谷大学の三木彰円准教授においでいただき「教学研究会」が開催されました。今回で5回目となる三木先生の講義のテーマは、昨年に引き続き『教行信証』『信巻』についてでありました。教区内の若手をはじめ、40名弱の熱心な受講者にご参加いただきました。

はじめに先生より、今回の講義は「信巻」の内容というよりは、「信巻」を「めぐって」というお話になります、との前置きがあり、坂東本『教行信証』復刻作業のお話から始められました。

御遠忌事業のひとつとしての「坂東本をそのままに復刻」するという作業も8年の歳月を掛け2012年12月に刊行されるに至りました。「そのまま」に復刻するとはどういう事かとは、作業する人の見識・判断を極力排除して行うということ。ご存知のように「坂東本」には聖人の長年に亘るご推敲の跡がみられます。読み仮名、送り仮名、塗りつぶし、朱書き、漢文の返り点、などにとどまらず、合点(がってん・竹串のようなもので紙に凹みを付け文章の区切りを表す)や、声点(しょうてん・文字の四隅に符号を付け声調、清濁などを指示する)、また文字の横に置かれた墨の点(注目を表すのか、聖人の逡巡の痕跡なのか)に至るまで忠実に復刻本に掲載して、聖人の思考のプロセスを考える一助としたとのことでした。

例えば、文章の訂正の仕方、①切り取ってしまう。②下が見えないように塗りつぶす。③下が読めるように重ねて書く。この復刻本ではどのように訂正したか表してあります。発売から3ヶ月で一千部ほど売れたそうです。当会場でも瞬く間に10部ほど売れたようでありました。

思えば、世の中の「名作」は読みやすく聞きやすく覚えやすい。聖人は意味と音の組み合わせまで熟慮され『教行信証』を著わされたのだと思います。「正信偈」①帰命無量寿如来②南無不可思議光、①②の順番を替えて詠んでも意味は変わらないのでしょうか、「音」としてウマクナイ。お試しください。

さて、「信巻」ですので信心について。阿闍世が人であるか無いか「信巻」のテーマであると三木先生は言われました。悉知義は苦悶する阿闍世に、「放捨せよ(忘れてしまいなさい)」と言います。苦悩の根本解決にはならない進言です。他の大臣も「悩むことはありません」、そして「その解決の方法は…」と言います。耆婆だ

けは「得安眠不」と尋ね(本来は、眠れますか?ですが、聖人は、当然安眠できないでしょう、との意味とされています)。そして、阿闍世の慙愧を「それは善いことです」と応えます。それから、阿闍世は釈尊の説法を聞きます。慙愧がある(かろうじて人である)うちに、信をいただいて人になる。「この信は最勝希有人なり」。聖人は、「信は人である」と言います。

来年も三木先生の6回目の講義を予定しています。ぜひ、ごいっしょにお聞きましょう。

第17組称名寺 有坂次郎

■ 東北連区指導者研修会報告

「楽しさの伝わり」

3月3日～5日までの二泊三日の日程で東北連区指導者研修会が三条教区において開催されました。

児童教化研修会部門では、通年、保育園や幼稚園、あるいはお寺の子ども会で子どもたちとゲームをしたり、大型紙芝居を上演したりして活動しております。この度の研修会では、子ども達との遊び、紙芝居の作り方、演じ方を大きなテーマとして学びました。

1日目は、新潟こども医療専門学校の山田すみ江先生を講師にお招きして、新聞紙や布テープなど、身近な素材で作った遊具で展開する遊びについて学びました。参加者全員が体を動かし、遊びを通してともに触れ合うことの楽しさを感じあえたと思います。

山田先生は、「実際自分が楽しいと思って遊ぶことで、子どもにもその楽しさが自ずと伝わる」とおっしゃっており、まず自分から関わっていく姿勢が大切なことだと教えてくださいました。



2日目には三条別院境内にある松葉幼稚園の子ども達と、前日に学んだ遊びをともに楽しみました。学んだ内容を、すぐに実践してみて、どのように遊び方を説明するとうまく伝わるのか、遊びの選び方は適切だったかなど、反省点も見える内容だったと思います。

大型紙芝居の講習は、長岡市で30年以上にわたって大型紙芝居を制作、上演されている諸橋精光先生のお寺、千蔵院様(長岡市柏町[旧中千手町])にある真言宗豊山派、越後三十三観音霊場、御本尊千手観世音菩薩)にうかがって、紙芝居の見学と講義をいただきました。今後、児童教化の活動で新作の大型紙芝居制作が予定されているため、このたびは脚本の作り方、絵の構

図の決め方などについてお話をいただきました。セリフを中心に脚本を作ることや、観衆の目を引き付けるにはどういう構図が面白いのか、という創作のポイントを教えてくださいましたが、諸橋先生は、下絵で実演してみて、セリフや構図を変えていくというように演じることで一層良いものに作り上げていかれるそうです。

今回の研修会全体を通して、自分が楽しいと思わないと、その楽しさは相手には伝わらない、伝わりにくいということを強く感じました。それは子どもに対してだけではありません。人と人のつながり全てに言えることなのだと思います。東北連区内で児童教化に関わっておられる方々と同じ時間を過ごし、言葉を交わす、この研修会の場が気持ちの共有の場なのだと感じています。

第19組玄證寺 藤田賢哉

■「差別と真宗」共学研修会報告

3月8日、「差別と真宗」共学研修会に参加させていただきました。山内小夜子先生(解放運動推進本部委員)からいただいたテーマは大谷派と女性との関わりについてでしたが、私は今まで、そこまで自分が「女性」ということを意識せずに生きてきたような気がします。ですから、9歳の時に得度させていただき、お盆には墓経をお手伝いしていたことは何も特別なことだと思ったことはありません。ある意味、「普通」だと思っていました。寺に生まれた子どもとして当然のことなのだと。そこに男女差は感じませんでした。

しかし、今日、山内先生のお話を伺ってみると、私の感じていた「普通」のことは、長い歴史の中で女性たちが立ち向かってきた問題の中で築き上げられたものだと知りました。女性でも9歳で得度できるようになったのは、1983(昭和 58)年に要望書が提出されてからのことで、それまで20歳まで得度が許されなかったとは知りませんでした。大谷派における女性史をみていくと、女性は仏教を学ぶ学校にも入ることを許されず、仏教者、職業的宗教者として生きていく道など、もちろんなかった時代から始まります。それは1879(明治12)年のことです。

ある一女子の立ち上がりから続く女性たちの戦いの連続から、今、私は仏教を学ばせていただく機会を与えてもらっていることを「普通」だなどと軽く考えてはいけません。先人の女性たちの苦勞に感謝し、その重みを忘れずにいたいものです。女性住職、男性坊守という生き方もある現代、私は、どのようにこの問題を捉えているのか…。ある一女子の問いかけは今も続いているように思います。

最後に、一人の僧侶として9歳で得度させてくれた両親に感謝いたします。

第19組傳誓寺 暉 彩

■長岡地区坊守研修会報告

去る2013年3月12日(火)、見附市元町浄覚寺様において、長岡地区坊守研修会が46名のご参加をいただき、東館紹見 大谷大学准教授(仙台教区盛岡組 宮古

市 善林寺)をお迎えし、「いのちと光に出会う—3・11 から今日までの想い」というテーマのもと開催されました。先生は前日四国でのお仕事を済まされたからの強行軍での見附入りにもかかわらず、お疲れも見せられず終始にこやかにお話しくださいました。

ご自坊は、明治29年の大津波をきっかけにしてできたこと、寺の縁起そのものが宮古市と大津波とのかかわりの中から生まれてきたこと、東日本大震災時のこと、また現在の宮古市や東北の様子などを親鸞聖人のお言葉を紹介されながら語られました。「お互い小慈小悲もなき身、自分中心の物さしではかっている、はかることのできないいのちと光に出会うことで自分の闇が照らされる、阿弥陀様の光に照らされて頭が下がる」というお話を伺ったせいでしょうか、午後の「花は咲く」の大合唱の後の座談会は、それぞれ自分の心の闇、自分中心の物さし発表会のようで、いっしょにうなずいたり、涙ぐんだり、笑ったりと、初めての顔合わせとは思えないほど盛り上がりました。この中越地区の人々は、私も含め「あれから8年」の今を生きているんだと改めて思った次第です。

さて、「3・11 から2年が経過した被災地の人に何が支援となるのでしょうか？」という私たちの疑問に先生は、「現地に足を運んでほしい、東北の物、三陸の商品を買ってほしい」とおっしゃっていました。支援物資については、「物資よりもお金の方が助かる」(福島汚染地域は別)という声も聞くとお話したら、それについてはお返事はされませんでした。微力ながらも継続して支援していくことの大切さを感じました。

また草間あつ子教区坊守会長から真宗大谷派坊守会連盟で行う募金の呼びかけがなされると、閉会時に回された募金箱には70,036円もの義援金が集まり、早速教務所へお預けしました(さらに救援金を募り、後日、連盟にお届けすることにいたします)。

ご参加ご協力ありがとうございました。

第15組光正寺 駒澤晴子

教務所からのお知らせ

◎法務手伝い希望について

教区内勤務希望 30代男性 有教師

可能な寺院がありましたら教務所へ連絡ください。

◎雑誌に教如上人 400 回忌法要が紹介されました

東本願寺創立の上人、教如上人を紹介する記事が、次の雑誌に掲載されましたので、お知らせいたします。ぜひ、ご覧ください。

①月刊「歴史人」4月号(2013年3月12日発売)

カラー1ページ

発行部数16万部/KKベストセラーズ

タイトル「東本願寺創立の歴史と教えを知る-2013年は教如上人400回忌の年-」

※主に上人の生涯、法要の記念行事を紹介。

②週刊「サンデー毎日」(2013年3月13日発売号)

カラー5ページ

発行部数 34 万部 / 毎日新聞社出版広告部
 タイトル「京都・東本願寺を創立した教如上人をし
 のぶ旅」
 ※主に長浜エリア、美濃・尾張エリアの史実等を紹介。

③月刊「一個人」5月号(2013年3月26日発売)
 カラー2ページ

発行部数 20 万部 / KK ベストセラーズ
 タイトル「東本願寺創立の歴史と教えを知る-2013
 年は教如上人 400 回忌の年-」
 ※主に上人の生涯、法要の記念行事、五村別院
 を紹介。

◎NHK 大河ドラマ「八重の桜紀行」の放送について

2013年4月14日(日)8時43分頃からNHK大河ド
 ラマ「八重の桜紀行」が放送されます。

山本八重をはじめ、物語に登場する人物に縁のある
 場所や物品、または物語の舞台となった地を情緒豊か
 に紹介する番組です(時間85秒)。一橋慶喜が逗留した
 お寺として真宗本廟が紹介されます。

ぜひご覧ください。

番組名称 「八重の桜紀行」

放送 ch/時間 NHK 総合

4/14 日曜 夜 8 時 43 分 30 秒頃

NHK BS プレミアム

4/14 日曜 夜 6 時 43 分 30 秒頃

(再放送) NHK 総合

4/27 土曜 昼 1 時 48 分 30 秒頃

番組詳細 <http://www9.nhk.or.jp/yaenosakura/>

◎出版物のご紹介

通夜・葬儀のこころ-仏事

リーフレット

身近な人を喪った悲しみ…。
 通夜・葬儀にどのような意味
 があるのか。亡き人を縁とし
 て、このことだけは尋ねてい
 きたい。



2013/03/21 発行 B5 判四つ折 1 セット 100 部入り ¥1,200

通夜・葬儀にどのような意味があるのか、そのことを
 参列者と共に考えていくリーフレット。随想「『死』と共
 にある『いのち』」、コラム「『お経』『正信偈』って何で
 すか」「『清め塩』は不要です」を収載。

◎ラジオ放送「東本願寺の時間」について

宗派が 1951 年 11 月よりラジオ伝道として放送してい
 る「東本願寺の時間」について、吉運堂様のご提供によ
 り、新潟県でもお聞きいただけます。

○講 師 3/31~5/11 木越祐馨(能登教区)

5/12~6/22 田村晃洋(東京教区)

(変更になる場合があります)

上記期間は「教如上人」をテーマとし、教如上人四百
 回忌のコンセプトである①教如上人の事跡の顕彰、
 ②東本願寺創設の祖としての位置づけ、③真宗大谷
 派なる宗教的精神の確認について、上人の人物像や
 教化活動に焦点を当てたお話を解り易い言葉でお届
 けする予定です。

○放送局 BSN新潟放送

*新潟県全域をカバー

・小出エリア 1026KHz

・中越エリア 1062KHz

・下越エリア 1116KHz

・塩沢エリア 1485KHz

・上越エリア 1530KHz

○時 間 毎週金曜日午前 5:00~5:10

○提 供 吉運堂 様

◎教区行事予定表

2013年	
4/1(月)	~3日 福島の子どもたち一時避難受入
4/2(火)	~3日 三条別院子ども奉仕団
4/4(木) 14:00	企画委員会小委員会
4/5(金) 17:00	教学研究会部門輪読会
4/9(火) 14:00	(遠)「親鸞聖人顕彰」事業会議
15:00	(遠)法要部会
4/11(木) 14:00	教化センター
4/12(金) 14:00	別院責任役員・常議員会
4/16(火) 14:00	報恩講実行委員会法要部会議
4/17(水) 14:00	企画委員会
4/18(木) 14:00	教化センター
4/19(金) 13:00	「差別と真宗」基礎講座(於佐渡組)
14:00	(遠)広報部会
17:00	教学研究会部門如来会
4/22(月) 14:00	(遠)実行委員会
4/23(火) 10:00	女性研修会部門スタッフ学習・会議
4/24(水) 14:00	(遠)正副組長連絡協議会
4/25(木) 14:00	教化センター
4/26(金) 14:00	(遠)別院整備事業建築工事説明会
5/9(木) 14:00	教化センター
5/14(火) 14:00	企画委員会
5/16(水) 13:30	推進員・育成員共学研修会
5/19(日) 14:30	三条別院公開講座(別院のご案内に詳細)
5/20(月) 9:30	教区坊守研修会
5/23(木) 14:00	教化センター
5/24(金) 10:00	春の別院奉仕研修(推進員)
6/1(土) 12:00	~2日東北連区保育大会
6/7(金) 14:00	企画員会
6/10(月) 13:00	~11日新任教師研修会
6/13(木) 14:00	教化センター
6/15(土)	~16日御坊市
6/19(水) 10:00	春季声明講習会
6/20(木) 10:30	声明会講習会
14:00	教化センター
6/27(木) 14:30	教化センター

(遠)は三条教区宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌実
 行委員会関連であることを示します。

行事日程(会場)重複防止の便宜上、教区・別院主
 催以外の行事が一部含まれています。また、日程は変
 更される場合があります。



新潟親鸞学会からのお知らせ

「親鸞となむの大地」展はいま Part 2

○親鸞聖人越後御旧跡奉賛会が発足

昨年準備が進められてきた奉賛会が、2月26日(火)午後3時から妙高の赤倉ホテルを会場に関係者31名の参加を得て発足しました。

この会は、「親鸞聖人の本願念仏の教えのもと、ひとびとにより護持されてきた御旧跡の法縁を奉賛し、会員が自信教人信に立って、更なる御旧跡の興隆と連携を構築することを目的とする(会則第2条)」もので、会長には古海法雲師、副会長には渡邊 眞師・堀前恵裕師・井上陽雄師が、また、名誉会長には稲田善昭師が就任。事務局長には武田 眞師、同次長には廣橋龍智師が就くことになりました。この会には近畿日本ツーリスト、JTB 関東、新潟ビーエス観光、日本旅行、名鉄観光、トップツアー大手旅行会社や赤倉ホテル、ホテル泉慶などの旅館・ホテルも協賛会員として参加しています。

これによって、明年春の「親鸞となむの大地」展をメインとし、合わせて御旧跡を巡拝していただく場合の、受け皿ができたことになります。そして「なむの大地」展が終わった後も、この奉賛会が新潟県内の巡拝や観光について、大事な役割を果たしていくことになります。

ホテル泉慶の担当者によれば、既に来年の「親鸞となむの大地」展絡みの問い合わせが全国から寄せられているとのことです。

○21組が新潟観光コンベンション協会と組んで「越後の七不思議弁当」を開発

「親鸞となむの大地」展絡みのトピックをもう一つご紹介します。

三条教区第21組では、今年5月25日(土)に御遠忌法要、9月7日(土)に記念講演会を予定し、それに先だって3月24日から61日間にわたるスタンプラリーが始まりました。その事業の一環として、新潟観光コンベンション協会に協力を求め、新潟薬科大学の小西教授の指導のもとに「越後の七不思議弁当」の開発が進められています。

この弁当の特長は、七不思議の魚や笹、栗、梅など



は聖人がお念仏とともに当時の薬事療法を伝えたことに尾ひれが付いたのではないかとの説に基づき、食材に七不思議の7種類を意図的に使用したヘルシーかつ美味しい弁当にしてあることでしょう。

その第1段として、3月18日(月)、イタリア軒 割烹堂で「親鸞聖人越後七不思議 昼定食(¥1,300)」の試食会が持たれ(写真下)、21組の安藤組長ほか8名とコンベンション協会職員など20名が吟味しました。ホテルによれば、夜のお膳料理(¥6,000 からも用意したとのことで、スタンプラリーの始まる3月24日から注文に応じるとのことです。



一方、協会ではシルバーホテルや(株)味家にも弁当の開発を依頼しており、夏ころには試食できそうです。新潟観光コンベンション協会では、上越や佐渡の協会とも連携をはかり、県内広域観光のなかで「越後の七不思議弁当」を紹介していく意向です。

皆様も話のタネに「越後の七不思議弁当」(写真左)を召し上がってみてはいかがでしょうか。

【新潟親鸞学会入会の申し込み・お問い合わせ】

新潟親鸞学会事務局 担当 富沢慶栄
〒951-8061 新潟市中央区西堀通二番町 783 超願寺内
☎025-222-2820 FAX 025-222-2830
Eメール choganji@nifty.com
新潟親鸞学会デスク(ブログ):
<http://niigata-shinran.cocolog-nifty.com/blog/>

三条仏教青年有志会ボランティア

三条仏教青年有志会は教区災害対策委員会と連携し、東日本大震災で被災された方々の支援活動を行っています。活動に参加いただける方はご連絡ください。

連絡係 藤井信彰(14組長楽寺)shinsho@nct9.ne.jp